

# 平成30年度第2回仙台地域農業普及活動検討会 次第

日時：平成31年2月13日（水）

午後1時30分から午後3時30分まで

場所：宮城県仙台合同庁舎 601会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 課題検討

### (1) 平成30年度普及指導活動の実績について ----- 資料 1

①平成30年度普及活動について

②平成30年度プロジェクト課題について

#### 【完了課題】

NO 1 仙台東部における土地利用型農業法人の経営体質の強化

(農) ファームセヶ浜 (農) グリーンファーム松島 (農) 岩切生産組合

(農) せんだいあらはま (農) 六郷南部実践組合

NO 4 生産組織での新規作型の導入によるねぎ作期拡大

(農) いさござわ (大和町)

NO 5 安定供給が可能なブルーベリー産地及び新たな果樹産地の育成

富谷市ブルーベリー生産者, 黒川郡ぶどう生産者

NO 3 多様な担い手による園芸を軸とした中山間地域農業の実現

仙台西部根白石地区生産者 (仙台市泉区)

#### 【継続課題】

NO 2 省力化技術導入による大規模土地利用型経営体の生産性向上

みどりあーと山崎 (株)

### (2) 平成31年度普及指導計画(案) について ----- 資料 2

①平成31年普及指導活動全体について

②平成31年度プロジェクト課題について

### (3) 総合検討

## 4 情報提供 ----- 資料 3

## 5 閉会

平成30年度 普及指導活動

普及事業の指針・方針

協同農業普及事業の運営に関する指針(国)  
 1 農業の持続的な発展に関する支援  
 2 食料の安定供給の確保に関する支援  
 3 農村の振興に関する支援  
 4 東日本大震災からの復旧・復興に関する支援

協同農業普及事業の実施に関する方針(宮城県方針)

計画期間: H28～32年度  
 1 先進的農業に取り組む経営体の支援  
 2 地域農業の振興に向けた総合的な支援

仙台地域普及指導基本方針(地域方針)

計画期間 H28～32年度  
 1 先進的農業に取り組む経営体の支援  
 ①先進的技術に取り組む経営体の育成・支援  
 ②競争力のあるアグリビジネス経営体の育成・支援  
 ③安全で安心できる農畜産物の生産に取り組む経営体の支援  
 ④環境と調和した農業生産に取り組む経営体の支援  
 2 地域農業の振興に向けた総合的な支援  
 ①地域農業を支える経営意欲の向上に向けた支援  
 ②地域農業の構造改革に向けた取組に対する支援  
 ③農村地域の振興に向けた取組に対する支援  
 ④取日本大震災からの復興に関する支援

重点活動項目

1 被災地域等の経営体の体質強化と地域農業の担い手の確保・育成

- ①土地利用型農業や園芸を柱とした大規模経営体系の確立支援
- ②新規法人等への経営分析・診断に基づく、生産・経営の課題解決支援
- ③新たな担い手組織の育成や法人化による農業構造の再編と経営の安定化支援
- ④次代を担う青年農業者等の育成支援

2 水田農業の大規模経営体の育成

- ①人・農地プランの策定及び行動計画の実践支援
- ②水田農業の大規模化・団地化等に対応できる経営体の育成支援
- ③水稲直播栽培等省力化技術の導入による生産力の向上及び生産コストの削減支援
- ④土地利用型作物のICT等活用による栽培管理の最適化・技術の体系化支援
- ⑤水田のフル活用に向けた園芸作物導入支援

3 仙台近郊の多彩な園芸産地の振興

- ①地域振興作物である「ねむり」の生産組織を中心とした産地育成
- ②安定栽培技術の確立や新産品導入によるフルベジの産地拡大とぶどうやメブジ等の新産品導入支援
- ③環境制御システムやGAPに取組む大規模園芸経営体への技術支援
- ④顧客ニーズの把握に基づいた直売所やインショップ向け園芸産品目の栽培技術の導入支援
- ⑤中山間地域の特色を生かした新たな園芸産品の導入支援

プロジェクト課題

※国・県の政策目的の実現や重要性・緊急性のある課題解決に向け、期間を定め、対象を特定して重点的に活動

No1 仙台東部における土地利用型法人の経営体質の強化

■対象 (農)やがひあはら手(農)八幡原町茶畑組合(農)岩切生産組合(農)カマキセツ産(農)クワンガム産(農) (仙台市、七ヶ浜町、島崎町)

No2 省力化技術導入による大規模土地利型経営体の生産性向上

■対象 みどりかーと山崎(株) (大郷町)

No3 多様な担い手による園芸を軸とした中山間地域農業の実現

■対象 仙台西部福白石地区生産者(4人) (仙台市)

No4 生産組織での新規作物の導入によるおき作物拡大

■対象 (農)りさきざり (大郷町)

No5 安定供給が可能なブルーベリー産地及び新たな果樹産地の育成

■対象 宮城県ブルーベリー生産者(うち改種・新産品実産者6人)、黒川郡ぶどう生産者(うち主要生産者5人) (宮城県、大郷町、大畑町、大賀村)

重点活動

※国・県の政策目的の実現や重要性・緊急性のある課題解決のため重点的に活動。期間は特に定めます。対象の絞り込みも行わない(又は、できない)

◎園芸の産地戦略プランの生産目標達成に向けた技術支援

■対象 大規模施設栽培法人・土地利用型作物生産組織(仙台市、宮城県、大郷町等)  
 定期巡回による技術支援、投資プロジェクト組織への技術支援

◎醸造用ぶどうの安定生産に向けた技術支援

■対象 醸造用ぶどう生産法人(仙台市、大郷町)  
 栽培技術の情報提供、定期巡回による技術支援

◎新規就農者の定着

■対象 就職希望者、既定新規就農者等(宮内全域)  
 就農計画等の作成支援、基礎的栽培技術支援

◎中山間地域の活性化支援

■対象 仙台市宮城野区倉内・大村地区等(仙台市等)  
 園芸産品の導入支援、鳥獣害対策への支援

一般活動

※対象者が広範囲、数年以上継続的に活動

◎地域農業の担い手の育成・確保、地域農業構造の強化

・地元農業者、集落若農組織、各地域農業推進協議会等  
 ・地元農業者、集落若農組織、各地域農業推進協議会等

◎青年・女性農業者の資質向上及び農業士会活動支援

・女性農業者、4コマア、農業大専校学生、農業士会等

◎法人化支援、法人の経営管理能力向上支援

・既設農業者、法人化意向農家、農業法人、農協復興関連事業活用農家、GAP、ICT活用農家 等

◎高付加価値生産による起業者支援

・販売所、農産加工者、6次化・起業者志向者等

◎水稲の作期安定と省力・低コスト稲作の推進

・稲作生産者、直播栽培稲作生産者

◎土地利用型作物の生産性向上支援

・各生産組織、集落若農組織、茶産組合等

◎野菜の生産・品質の向上とブランド化支援

・野菜生産者等

◎果樹の安定生産と栽培者の活性化

・果樹農家、若手農協会・組合等

◎安全・安心な農畜産物の供給支援

(放射性物質検査含む)  
 ・管内の農業者

◎花きの良品安定生産による産地育成

・花き生産者

◎生産性の高い畜産経営の推進

・乳用牛群収定実施農家等

◎鳥獣害防止対策の支援

・鳥獣被害発生地区等

技術情報の発行  
 ・稲作情報 8回  
 ・大豆作情報 3回  
 ・麦作情報 3回、他

平成30年度 プロジェクト課題一覧表

No	プロジェクト課題名	計画期間	対 象 (対象農家・地域名等)	進行管理担当班 担 当 者 名
1	仙台東部における土地利用型農業法人の経営体質の強化 (「中間管理事業」関連課題)	平成29年度 ～ 平成30年度  <b>完了</b>	(農) ファームセヶ浜 (農) グリーンファーム松島 (農) 岩切生産組合 (農) せんだいあらはま (農) 六郷南部実践組合	先進技術第二班 ◎高橋真樹子, 及川克徳, 菊地敬子, 鈴木智貴, 丹野美和, 長田幸浩, 笹原教子, 鈴木康成, 小田中大輔 (先進技術第二班)
2	省力化技術導入による大規模土地利用型経営体の生産性向上 (「中間管理事業」関連課題)	平成30年度 ～ 平成32年度  <b>継続</b>	みどりあーと山崎 (株)  (大郷町)	先進技術第一班 ◎長田幸浩, 薄木茂樹, 大河原香織, 飯沼千史, 高橋真樹子, 小田中大輔 (先進技術第一班)
3	多様な担い手による園芸を軸とした中山間地域農業の実現  (「中山間地域振興」関連課題)	平成30年度 ～ 平成32年度  <b>完了</b>	仙台西部根白石地区生産者  (仙台市泉区)	地域農業班 ◎鈴木智貴, 泉澤弘子, 佐藤郁子, 佐藤秀俊, 漆山裕子, 服部信次 (地域農業班)
4	生産組織での新規作型の導入によるねぎ作期拡大	平成30年度 ～ 平成31年度  <b>完了</b>	(農) いさござわ (大和町)	先進技術第一班 ◎笹原教子, 佐々木吉一, 大河原香織, 飯沼千史, 漆山裕子, 齋藤雅博 (先進技術第一班)
5	安定供給が可能なブルーベリー産地及び新たな果樹産地の育成	平成28年度 ～ 平成30年度  <b>完了</b>	富谷市ブルーベリー生産者, 黒川郡ぶどう生産者	先進技術第二班 ◎柴田昌人, 佐藤秀俊, 鈴木康成, 齋藤雅博 (先進技術第二班)

平成31年度 普及指導計画(案)

普及事業の指針・方針

協同農業普及事業の運営に関する指針(国)

- 1 農業の持続的な発展に関する支援
- 2 食料の安定供給の確保に関する支援
- 3 農村の復興に関する支援
- 4 東日本大震災からの復旧・復興に関する支援

協同農業普及事業の実施に関する方針(宮城県方針)

- 計画期間: H28~32年度
- 1 先進的農業に取り組む経営体の支援
  - 2 地域農業の復興に向けた総合的な支援

仙台地域普及指導基本方針(地域方針)

計画期間: H28~32年度

- 1 先進的農業に取り組む経営体の支援
  - ① 先進的技術に取り組む経営体の育成・支援
  - ② 競争力のあるアグリビジネス経営体の育成・支援
  - ③ 安全でおいしい農産物の生産に取り組む経営体の支援
  - ④ 環境と調和した農業生産に取り組む経営体の支援
- 2 地域農業の復興に向けた総合的な支援
  - ① 地域農業を支える経営意欲の高い担い手の育成・育成に向けた支援
  - ② 地域農業の構造改革に向けた取組に対する支援
  - ③ 農村地域の復興に向けた取組に対する支援
  - ④ 東日本大震災からの復興に関与する支援

重点活動項目

1 被災地域等の経営体の体質強化と地域農業の担い手の確保・育成

- ① 土地利用型農業や園芸を柱とした大規模農業体系の確立支援
- ② 大規模農業法人等への経営分析・診断に基づく生産・経営の課題解決支援
- ③ 新たな担い手組織の育成や法人化による農業構造の再編・経営の安定化支援
- ④ 次代を担う青年農業者等の育成支援

2 水田農業の大規模経営体の育成

- ① 農地プランの行動計画の実践支援
- ② 水田農業の大規模化・団地化等に対応できる経営体の育成支援
- ③ 水稲直播栽培等省力化技術の導入による規模拡大及び生産コストの低減支援
- ④ 土地利用型作物のICT等活用による栽培管理の最適化・技術の体系化
- ⑤ 水田のフル活用に向けた園芸作物導入支援

3 仙台近郊の多彩な園芸産地の振興

- ① 産地別御システムやGAPに取り組み大規模園芸経営体への技術支援
- ② 中山間地域の特色を生かした新たな園芸品目の導入支援
- ③ 重点振興品目である「ねぎ」の生産組織を中心とした産地育成
- ④ 顧客ニーズの把握に基づいた直売所やインショップ向け園芸品目の栽培技術の導入支援
- ⑤ 新品種の安定栽培技術の確立や新品目導入支援

プロジェクト課題

※国・県の政策目的の実現や重要性・緊急性のある課題解決に向け、期間を定め、対象を特定して重点的に活動

No1 省力化技術導入による大規模土地利用型経営体の生産性向上

■対象: みどり第一山崎(株) (大郷町)

No2 中山間地域農業を支える産地営農体制の構築

■対象: 蒼内・大針農村地域活性化委員会(地域営農部会) (仙台市)

No3 G.A.P.を活用した競争力の向上

■対象: (株)未来彩園 (大郷町)

No4 産地別御システムによる動向管理技術向上

■対象: (株)イグナルファーム大郷 (大郷町)

No5 法人経営の安定に向けた加工部門の収益性向上

■対象: (株)仙台イーストカンパニー (仙台市)

重点活動

※国・県の政策目的の実現や重要性・緊急性のある課題解決のため重点的に活動。期間は特に定めず、対象の絞り込みも行わない(又はできない)

◎園芸の産地戦略プランの目標達成に向けた技術支援

■対象: 大郷農園産地栽培法人、土地利用型作物生産組織 (仙台市、重谷市、大郷町、大郷町、大郷町、大郷町等) 巡回による技術支援

◎醸造用ぶどうの安定生産に向けた技術支援

■対象: 醸造用ぶどう生産法人 (仙台市、大和町) 栽培技術の情報提供、定期巡回による技術支援

◎産がりねぎの生産拡大

■対象: JAあさひなな重谷 (大和町、大郷町、重谷市) 巡回指導、現地検討会等

◎新規就農者等の確保・育成・定着支援

■対象: 就農希望者、新規就農者等 (管内全域) 就農計画等の作成支援、基礎的栽培技術支援

◎経営資源能力向上による産地振興支援

■対象: 土地利用型農業法人 (仙台市、七ヶ浜町、松島町、大郷町等) 経営計画作成と改善目標達成支援、ICT技術等の活用支援

●一般活動

※対象者が広範囲、数年以上継続的に活動

○地域農業の担い手の育成・確保、地域農業構造改善支援  
 ・協同農業者、集落営農組織、各地域農業推進協議会等

○青年・女性農業者の資質向上及び農業士会活動支援  
 ・女性農業者、4Hクラブ、農業大学校学生、農業士会等

○法人化支援、法人の経営管理能力向上支援  
 ・認定農業者、法人化意向農家、農業法人、経営復興協議会、事業活用農家、GAP、ICT指向農家等

○高付加価値生産による起業者支援  
 ・直売所、農産加工者、6次化・起業者志向者等

○水稲の作柄安定と省力・低コスト稲作の推進  
 ・稲作生産者、直営栽培取組生産者

○土地利用型作物の生産性向上支援  
 ・各生産組織、集落営農組織、採種組合等

○野菜の生産・品質の向上とブランド化支援  
 ・野菜生産者等

○果樹の安定生産と栽培者の活性化  
 ・果樹農家、各生産部会、組合等

○安全・安心な農産物の供給支援  
 ・放射線物質検査含む  
 ・管内の農業者

○花きの良品安定生産による産地育成  
 ・花き生産者

○生産性の高い畜産経営の推進  
 ・乳用牛・肉用牛・豚・鶏・養蚕農家等

○鳥獣被害防止対策の支援  
 ・鳥獣被害発生地区等

平成31年度 プロジェクト課題一覧表 (案)

平成31年2月13日

No	プロジェクト課題名	計画期間	対 象 (対象農家・地域名等)	進行管理担当班 担 当 者 名
1	省力化技術導入による 大規模土地利用型経営 体の生産性向上  (「中間管理事業」関 連課題)	平成30年度 ～ 平成32年度  <b>継続</b>	みどりあーと山崎(株) (大郷町)	担当班：先進技術第一班 ◎長田幸浩, 小田中大輔 佐藤秀俊, 泉澤弘子  進行管理担当：泉澤総括
2	中山間地域農業を支える 地域営農体制の構築 (「中山間地域振興」 関連課題)	平成31年度 ～ 平成33年度  <b>新規</b>	倉内・大針農村地域活 性化委員会地域営農部 会6人 (仙台市)	担当班：地域農業班 ◎菊地敬子, 鈴木智貴 大河原香織, 佐藤郁子 丹野美和  進行管理担当：佐藤班長
3	GAPを活用した現場 力の向上 (「GAP」関連課題)	平成31年度 ～ 平成32年度  <b>新規</b>	(株) 未来彩園 (大衡村)	先進技術第二班 ◎高橋真樹子, 大河原香織 齋藤雅博, 鈴木康成  進行管理担当：鈴木班長
4	環境制御システムによ る栽培管理技術向上	平成31年度 ～ 平成33年度  <b>新規</b>	(株) イグナルファーム 大郷 (大郷町)	先進技術第一班 ◎漆山裕子, 笹原教子 服部信次, 飯沼千史  進行管理担当：飯沼班長
5	法人経営の安定に向け た加工部門の収益性向 上	平成31年度 ～ 平成32年度  <b>新規</b>	(農) 仙台イーストカ ントリー (仙台市)	先進技術第二班 ◎柴田昌人, 小田中大輔 鈴木康成, 佐藤郁子 及川克徳  進行管理担当：及川専門監

# プロジェクト課題等全体計画整理表

課題No. 2	課題名 中山間地域農業を支える地域営農体制の構築		計画期間	平成31年度～平成33年度
対象名及び対象者数	倉内・大針農村地域活性化委員会地域営農部会 6人			
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市西部の倉内・大針地区は仙台市の中心部に隣接するものの、農業の担い手不足及び耕作放棄地の増加並びに鳥獣被害の増加など、持続的な地域農業の維持に当たり課題が山積みしている。</li> <li>・倉内・大針地区では、これらの課題に対応するため、平成29年7月に「倉内・大針農村地域活性化委員会」(会員20名)を設立し、基盤整備事業導入及び体験交流等による地域活性化を進めている。平成30年度には、「土地利用型園芸作物(ねぎ、たまねぎ)及び「体験交流に向けた作物栽培」を試験的に取り組んだ取組強化している。</li> <li>・当地区では、平成34年度から始まる工事前に持続的に集落営農を担う組織と導入作物を決定し、工事終了後スムーズに営農を開始したいと考えている。</li> </ul>			
意図する対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤整備後に導入される園芸作物の品目を決定するとともに技術習得が図られる。</li> <li>・地域を支える集落営農組織が設立され、持続的な営農体制が構築される。</li> </ul>			
果実施方針上の関連項目	2 - (2)	2 - (3)		
地域基本方針上の関連項目	2 - (2)	2 - (3)		
担当チーム員	担当班：地域農業班 ◎菊地敬子, 鈴木智貴, 大河原香織, 佐藤郁子 丹野美和			
年度別	平成31年度(1年目)	平成32年度(2年目)	平成33年度(3年目)	最終到達点
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長ねぎの技術及び収益性の検討を行い、導入品目として決定する。</li> <li>・集落営農組織体制及び法人化に向けた作業工程が明らかになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※導入品目の変更あり</li> <li>・2度目の収穫を経験したたまねぎの技術及び収益性の検討を行い、導入品目として決定する。</li> <li>・集落営農組織の法人化が図られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2度目の収穫を経験したジャンボにんにく栽培技術及び収益性の検討を行い、導入品目として決定し、最終的に基盤整備後に導入される園芸作物の品目が決定するとともに技術習得が図られる。</li> <li>・地域を支える集落営農組織(法人)により、持続的な営農体制が構築される。</li> </ul>	
定量的数値目標 現状(平成 年度)	基盤整備後作付け品目の決定→1品目	基盤整備後作付け品目の決定→2品目	基盤整備後作付け品目の決定→3品目	
活動事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入予定品目の栽培技術支援</li> <li>②収穫 決定</li> <li>①収穫</li> <li>ジャンボにんにく</li> <li>・集落営農組織づくり支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入予定品目の栽培技術支援</li> <li>②収穫 →決定</li> <li>①収穫</li> <li>・集落営農の法人化支援</li> <li>経営計画、ビジョン等の作成支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入予定品目の栽培技術支援</li> <li>②収穫 →決定</li> <li>・集落営農組織(法人)運営支援</li> <li>基盤整備工事に合わせた営農活動支援</li> </ul>	
活動指標				
関係機関の主な役割分担項目	仙台市(事業導入支援, 法人化支援) JA仙台(中間管理事業手続き支援, 販売活動支援)			
関連事業名と役割	農業競争力強化基盤整備事業			

# プロジェクト課題等全体計画整理表

課題No. 3		計画期間	
課題名 GAPを活用した現場力の向上		平成31年度～平成32年度	
対象名及び対象者数		株式会社未来彩園（取締役1人，従業員4人）	
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株) 未来彩園は、平成16年10月に有限会社を設立し、平成22年に株式会社化した。現在ガラス温室10,363㎡で大玉トマト、中玉トマトの養液栽培を行っている。従業員は常勤の常務取締役1名の他、正社員2名とパート社員19名である。</li> <li>・平成19年度に県内で初めてJGAP認証を取得し、平成30年にはASIAGAP認証を取得している。</li> <li>・ASIAGAP認証取得に当たっては取締役を中心に準備を行っており、取締役と農場担当の正社員1名はJGAP指導員資格を取得しGAPに対する意識は高いものの、パート社員まではGAPについての理解が十分に浸透していない。</li> <li>・病害虫の発生により年次によっては取量が不安定であるが、技術的な課題については先進的圃芸経営体育成支援事業で支援する。</li> </ul>		
意図する対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員がGAPを理解することにより意識改善が図られ、自主的に作業改善策を提案・実施するようになる。</li> </ul>		
果実施方針上の関連項目	1- (1) 先進的技術に取り組む経営体の育成・支援 1- (3) 安全で安心できる農畜産物の生産に取り組む経営体の支援		
地域基本方針上の関連項目	1- (1) 先進的技術に取り組む経営体の育成・支援 1- (3) 安全で安心できる農畜産物の生産に取り組む経営体の支援		
担当チーム員	◎高橋真樹子，大河原香織，齋藤雅博，鈴木康成		
年度別	平成31年度（1年目）	平成32年度（2年目）	平成 年度（ 年目） 最終到達点
定性的目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全社員がGAPを理解することにより意識改善が図られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に改善策を提案・実施するようになり、作業効率の向上が図られる</li> </ul>	/
成果指標	作業改善数 1	作業改善数 2	
定量的数値目標 現状(平成30年度) 作業改善数 0			
活動事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員による自発的な作業改善活動</li> <li>・ワーキンググループ運営支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業改善活動の運用支援</li> </ul>	
活動指標			
関係機関の主な役割分担項目		JAあさひな，大衡村：情報共有	
関連事業名と役割			

# プロジェクト課題等全体計画整理表

課題No. 4	平成31年度～平成33年度	
課題名	環境制御システムによる栽培管理技術向上	
対象名及び対象者数	株式会社イグナルファーム大郷（代表取締役1人、職員2人）	
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)イグナルファーム大郷は、東松島市に本社を置く(株)イグナルファームが100%出資して設立した法人で、平成30年度に大郷町へ進出した。30年度事業により高軒高ハウスを建設し、ミニトマト(1ha)、ネギ(1.6ha)を栽培している。</li> <li>・ミニトマトの栽培管理の効率化、高収量を目指し、環境制御システムを導入しているが、ミニトマトでの環境制御システムの使用、大規模施設での栽培は経験はない。そのため、葉面積指数(LAI)を含む生育調査データとハウス内環境データから最適な栽培管理を総合的に判断する知識を習得し、適正に環境制御システムを運用することが必要である。</li> <li>・同地区に大規模園芸施設数社が建設予定であるため、雇用の確保が難しい状況にある。このようなか、職員数名を雇用しているが、農業経験者は少ないことから、栽培管理技術と農場管理に関する知識を有した職員の育成が課題となっている。</li> </ul>	
意図する対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニトマトの生育調査データとハウス内環境データから栽培管理を総合的に判断し、適正に環境制御システムを運用することにより収量が安定する。</li> <li>・栽培技術と農場管理に関する知識を持った職員が育成される。</li> </ul>	
県実施方針上の関連項目	1 - (1) 先進的技術に取り組み経営体の育成・支援	
地域基本方針上の関連項目	1 - (1) 先進的技術に取り組み経営体の育成・支援	
担当チーム員	◎漆山裕子, 笹原教子, 服部信次, 飯沼千史	

  

	平成31年度(1年目)	平成32年度(2年目)	平成33年度(3年目) 最終到達点
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育調査データや環境制御因子に関する理解が進む。</li> <li>・生育解析に必要な基礎データの蓄積。</li> <li>・農場管理の基礎知識が身につく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育調査データ、ハウス内環境データを分析し、栽培管理を検討できる。</li> <li>・作業時間調査データ、生産計画を考慮した作業計画を作成できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育調査データ、環境データを基に栽培管理、ハウス内環境を最適化できるようになる。</li> <li>・作業計画を作成し、計画通りに実践できる。</li> </ul>
定量的数値目標 現状(平成 年度)	ミニトマトの出荷量：15t/10a	ミニトマトの出荷量：16t/10a	ミニトマトの出荷量：17t/10a
活動事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育調査データやハウス内環境データの分析に関する支援</li> <li>・生育調査、LAI調査に関する支援</li> <li>・生産計画に基づく作業計画の検討支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育調査データやハウス内環境データの分析に関する支援</li> <li>・環境制御機器に関する研修会への参加誘導</li> <li>・作業時間調査データの分析支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生育調査データやハウス内環境データの分析に関する支援</li> <li>・環境制御機器に関する研修会への参加誘導</li> <li>・作業効率化のための支援</li> </ul>
関係機関の主な役割分担項目	JAあさひな, 大郷町(情報共有), 農業・園芸総合研究所, 園芸振興室(環境制御システム, 栽培管理に関する指導協力)		
関連事業名と役割			



# プロジェクト課題等全体計画整理表

課題No. 5		計画期間	平成31年度～平成32年度
課題名 法人経営の安定に向けた加工部門の収益性向上			
対象名及び対象者数		(農) 仙台イーストカントリー 理事3人	
課題の背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(農) 仙台イーストカントリーは、生産部門(水稲+大豆+稲わら+飼料米)、加工部門(農産加工施設、農家レストラン)を持ち、生産・加工・販売を一貫して行っている。</li> <li>・生産部門は、水稲の直播栽培や多品種栽培により、作業分散に取組みながら収益を確保した経営が行われている。</li> <li>・加工部門は、東日本大震災後の雇用の創出のため平成25年に設立し、売上げは年々増加しているが、収益が十分確保されていない。</li> <li>・加工部門では、おにぎり、味噌、惣菜等を製造し、地元スーパーや農産物直売所で販売を行っている。また、農家レストランでは、ランチプレート、おにぎり、豚汁等を提供している。取り扱い商品が多く、日々の製造・販売管理の見直しが十分行えていないことが課題となっている。</li> </ul>		
意図する対象の変化	継続的な見直しと改善が行われながら加工部門が運営されるようになる。		
果実施方針上の関連項目	1- (2) 競争力のあるアグリビジネス経営体の育成・支援 2- (1) 地域農業を支える経営意欲の高い担い手の確保・育成に向けた支援		
地域基本方針上の関連項目	1- (2) 競争力のあるアグリビジネス経営体の育成・支援 2- (1) 地域農業を支える経営意欲の高い担い手の確保・育成に向けた支援		
担当チーム員	柴田昌人, 小田中大輔, 鈴木康成, 佐藤郁子, 及川克徳		
年度別	平成31年度(1年目)	平成32年度(2年目) 最終到達点	平成33年度(3年目)
定性的目標	原価計算に基づいた適正な価格設定ができるようになる。	継続的な見直しと改善が行われながら加工部門が運営されるようになる。	/
定量的数値目標 現状 (平成30年度)	特徴を明確にした商品数 10	特徴を明確にした商品数 20	/
活動事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工部門経営の見直し支援</li> <li>・販売活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工部門経営の見直し支援</li> <li>・販売計画作成・進捗管理支援</li> </ul>	/
活動指標			/
関係機関の主な役割分担項目		仙台市, JA仙台: 研修会開催, 情報共有, 事業導入支援	

# 平成31年度普及センター活動（重点活動）一覧表(案)

平成31年2月13日

活動項目	目的及び内容	対 象	担当班
<p>園芸の産地戦略プランの目標達成に向けた技術支援 （トマト、イチゴ、えだまめ、ゆきな）</p>	<p>（目的） 国庫事業等で導入された環境制御システムを活用した大規模園芸施設が増加している。また、加工・業務用野菜や特徴ある品目の取組も拡大している。これらを併せて、仙台地域産地戦略プランの達成に向けた技術支援を行う。</p> <p>（内容） ・先進的園芸経営体育成支援連絡会の活動に関する対応 ・巡回による栽培技術支援</p>	<p>大規模園芸施設栽培法人等 土地利用型園芸作物の生産組織等</p> <p>（仙台市、富谷市、松島町、大郷町、大衡村等）</p>	<p>先進技術第一班 地域農業班</p>
<p>醸造用ぶどうの安定生産に向けた技術支援 （ぶどう）</p>	<p>（目的） 管内では醸造用ぶどうの作付が、ワイナリーの設置と並行して行われているが、その栽培実績はないことから、安定した原料生産が可能となるよう技術支援を行う。</p> <p>（内容） ・醸造用ぶどうの栽培技術に関する情報収集と提供 ・定期巡回による技術支援</p>	<p>（株）仙台秋保醸造所 （株）みらいファームやまと</p> <p>（仙台市、大和町）</p>	<p>先進技術第二班</p>
<p>曲がりねぎの生産拡大</p>	<p>（目的） 曲がりねぎは札幌市場で評価が高く、大きな需要があり、JAあさひなではねぎの販売額1億円を目指している。 しかしながら、高齢化やハウス（やとい用）の面積に限りがあり、作付面積の拡大が進まないため、新たな生産者の掘り起こしや夏ねぎや露地やとい等の作期拡大を部会員に普及し、ねぎ出荷量を増大させる。</p> <p>（内容） ・JAあさひなねぎ生産拡大プロジェクトチーム（チームねぎ）の活動支援（新たな生産者（特に生産組織）の掘り起こし等） ・部会活動の支援（個別巡回指導、現地検討会、視察研修等）</p>	<p>JAあさひなねぎ部会 （大和町、大衡村、大郷町、富谷市） JAあさひなねぎ生産拡大プロジェクトチーム</p>	<p>先進技術第一班</p>

活動項目	目的及び内容	対 象	担当班
<p>新規就農者等の確保 ・育成・定着支援</p>	<p>(目的)            仙台地域で近年増加している就農希望者及び新規就農者等に対し、営農計画作成及び技術支援はもとより、各種支援事業や資金活用等について各市町に設置されているサポートチーム及び担い手育成支援協議会と連携し、下記支援を行う。</p> <p>(内容)            ①就農相談対応            就農希望者の相談に応じ、希望の具現化を支援する。併せて、関係機関と情報を共有し、総合的な支援体制を構築する。            ②就農計画策定支援            就農計画作成を支援するとともに市町村の要望に応じて就農計画発表会を開催し、計画の認定に向けた計画精度を高める支援を行う。            ③農業次世代人材投資事業等、各種支援事業活用支援            ④生産技術・経営管理能力習得支援            農業技術習得に向けた研修先等の情報提供や技術支援、経営管理支援を行う。            ⑤ネットワーク構築支援            就農後の安定生産・定着のため技術指導・交流会等を通じたネットワーク化を図る。</p>	<p>就農希望者及び新規就農者等            (管内全域)            (農業次世代人材投資事業(準備型・経営開始型)等の対象者)            (青年等就農資金借受者)</p> <p>※平成31年度より準備型は一部廃止されるが前年度までの対象者のフォローは行う。</p>	<p>地域農業班            先進技術第一班            先進技術第二班</p>
<p>経営管理能力向上による経営発展支援</p>	<p>(目的)            仙台管内では東日本大震災以降、土地利用型農業法人の設立が増加している。そうした農業法人の経営発展に向けて、具体的な各種経営管理能力等の改善活動を支援する。</p> <p>(内容)            ・財務管理・経営計画作成と改善目標達成支援            ・ICT等の活用などによる労務管理支援            ・雇用就農者の育成、定着支援            ・多角経営化に向けた支援</p>	<p>土地利用型農業法人            (仙台市、七ヶ浜町、松島町、大郷町等)</p>	<p>先進技術第二班            地域農業班</p>